

① テニスを核とした、スポーツの  
活性化を図るための土台づくりを。



「軽井沢スポーツクラブ」(仮称)の倶楽部ハウスを建設。

- これまでにないクラブハウスをスタートします。クラブハウスとしての箱物建設は致しません！  
クラブハウスはインターネットのホームページ、または SNS の中に存在します。
- 会員は、軽井沢でスポーツを楽しんだ方全ての方が会員資格を取得することができます。
- 特定の人のみでのクラブハウスでは無い、100% Open のスポーツを楽しむ人のクラブハウスです。
- クラブハウスにアクセスすると、テニスコートや宿泊、ランチ、ディナーなど予約が可能です。
- 会員への情報提供やクラブハウスと会員相互のコミュニケーションを図ります。
- 高度なセキュリティシステムで会員のプライバシーをガードします。

〈クラブハウスの目的〉

- ① 会員がスムーズにストレスなく、スピードをもって予約をする事ができ、必要であれば的確なアドバイスもいたします。
- ② 会員及びリピーターのデータや会員の滞在動向などのデータ蓄積。(最終目的に到達するためのデータ活用)
- ③ テニスコート、スポーツ施設はもとより、ホテル、ペンションなど宿泊の予約状況の発信と予約受付。
- ④ ホテル、レストランなどランチやディナーの予約受付。ランチデリバリーの予約とかやる？
- ⑤ 将来的には、クラブハウスがセレクトした軽井沢と長野県での生産物を Onlyone (いっぴん) として物販のサイトもオープンします。(別組織でないとダメ?)

- スタート時は風越公園のテニスコート他、各スポーツ施設と追分第2運動場テニスコート、早稲田大学グラウンド(?) 他協力施設・組織などからスタート。順次民間のテニスコート、クラブにも協力を依頼。
- 宿泊予約も当初は、協力して頂ける施設からスタート。

〈主な宣伝、広報活動について〉

- ① 当初はプレスを通じてのパブリシティ活動を活発に行います。  
軽井沢の人々には、地元紙「軽井沢新聞」にパブリシティ依頼。  
長野県他、近県の地元紙にも協力依頼します。→ターゲットの設定によりパブリシティのエリアを拡大。
- ② インターネット、各 SNS を通じて発信。軽井沢で行うスポーツの魅力を徹底的に浸透させます。
- ③ クラブハウスが、徐々に活動して行くことにより SNS での Share による口コミとしてのパワーが発揮されをます。(良くも悪くも)

② 安心してテニスを楽しむ事が出来る、  
風越公園のスポーツ施設を中心とした  
ロケーションの整備とシステムづくり。



風越公園テニスコート



追分第二運動場テニスコート



可動式の観客席 (例) → 2～3段位で良いと思う。



上流の水源や川を守ることは海洋汚染を防止することに繋がります。  
美味しい水、きれいな水を守るには健全な森林が必要です。  
森林の光合成は CO2 の削減に大きく寄与します。

整備とシステムとは、例えば。

オンシーズンに予約がいっぱいになる風越公園と追分第二テニスコートのキャパシティアップや、将来を見つめてのコート整備が必要です。

- ① 現在軽井沢に存在する町営のテニスコートを全コート夜間照明付きにすることを提案し実行します。  
夜間も使用可能になれば 30% キャパシティを拡大することが可能になります。  
電源はクリーンエネルギーのソーラー発電です。\*出来れば風越公園施設もクリーンエネルギーで。
- ② ジャパンカップを始め、国際テニス大会で使用のサーフェスに合わせてコートの整備が必要と思います。  
ちなみに、全豪オープン、全米オープンはハードコート。全仏オープンには赤いクレイコート。  
英国ウィンブルドンはグラス（天然芝）コート。特にクレイコートは煉瓦を砕いて作った赤いコートが必要。  
テニスプレイヤーに、世界のコートと同レベルのコートを用意することにより、軽井沢テニスの  
有効なセリングポイントになるのではと考えます。(費用概算は下記参照)

※現在風越公園も含めてのオムニコートは世界の公式戦で使われることは無く、日本のプレイヤーが海外で活躍できる選手が少ない原因のひとつと言われています。

- ③ 軽井沢町に存在する町営及び民間のテニスコートをクラブハウスでオンライン化、  
予約業務を一本化します。  
それに伴いテニスコートのキャパシティはより拡大し、テニス人口の増加に繋がります。
- ④ 今後イベントとしてのテニス大会に備えて観客席の設置が必要となります。  
2年後ぐらいには、②とともに現在の風越公園テニスコートに可動式の観客席をと、考えます。
- ⑤ 風越及び追分第二テニスコート他、スポーツ施設の使用料金の改定を図ります。料金値上げの目的は、  
現状の施設のアップグレードを図ることと SDGs の基金としてのものです。  
軽井沢でスポーツを楽しむ全ての人達に SDGs への参加意識を持って頂きたいからです。  
もちろん基金は、高額ではなく 50 円程度かと思えます。(要検討)  
例：軽井沢の水と空気を守るための、森林保護や湿地の回復など。(地元 NPO やフォーラムとの連携が必要)

\* SDGs への理解を深めていただくためにも公の場で活動と基金の活用報告が必要。

注：軽井沢町では 2020 年 3 月 18 日に「2050 年までに、カーボンゼロ宣言」を発表。

各コート建設費用概算

- クレイコート (1面) 建設費 500 万円 (維持費 2 年 1 回補修工事 60 万円)
- ハードコート (1面) 建設費 900 万円 (維持費 3 年 1 回トップコート塗り 80 万円)
- グラスコート (天然芝) (1面) 建設費 390 万円 (メンテナンスに費用がかかる)

③ 小・中学生～シニアに至るまで、プロコーチによるテニススクールとコーチ養成のスクールを開設します。



幼児・小・中・高校生は、春、夏休み。または短期連休を利用して初心者スクールと経験者スクールを開設します。(1日スクール、3日スクールを開設)

初心者スクールは、テニスの楽しさを身体で感じて頂く事を目的に、プロのコーチが1から丁寧に指導します。家族同伴でのカリキュラムも用意します。

小・中学生の経験者スクールは、1日コース、3日コースともテニスの基本を中心に、試合形式で学びます。(生徒の実力に応じて)

3日コースの宿泊施設は、軽井沢ならではのキャンプ場やコテージとセットしたテニスクャンプ。アフタースポーツの楽しさを満喫出来る提案も積極的にアプローチします。

また、テニスを楽しむ子供からシニアに至るまでプロコーチによるワンポイントアドバイスのスクールも同時期に開設します。(例えば2時間・3時間コースなど。時間はコートの基本使用時間で)

経験豊かなプロのコーチ陣を用意。(中/高生に限らず社会人のサークルの合宿も可です)

プロのコーチによるきめ細かなフォームの指導から試合の駆け引き、トップアスリートたちのことなど年代、経験の度合いによって適切に指導致します。またスポーツフードアドバイザーによるフードレクチャーや、正しい筋肉の付け方など、幅広く、楽しく指導を行います。

「同伴の父兄の方たちも一緒に」を啓蒙し、楽しく学べるカリキュラムも用意。(風越スポーツ施設の体育館や、会議室を利用)

中学生・高校生の軟式テニスの合宿も歓迎します。

テニスコートは追分第2運動場のクレーコートを利用します。

日本テニス協会のインストラクターまたはコーチ資格取得の養成をします。

軽井沢テニスのバックボーンとして、インストラクターや審判員は必要不可欠です。

また、ここで資格を取得し、全国に散って行く彼ら彼女たちは軽井沢テニスの広告塔としての働きをしていただけるかもしれません。

\*テニススクールは、他では味わえない軽井沢のテニススタイルを拡大するための第一歩。

年代を超えて誰もが軽井沢スタイルを楽しめるあらゆる道具立てをプロコーチ陣のアドバイスを頂きながら企画立案します。

④ 日本テニス協会主催による、  
年代別・種目別の  
Karuzawa Cup を開催します。



## Karuzawa Cup の目的と狙い

Karuzawa Cup はクラブ会員にとっても軽井沢スポーツ倶楽部にとっても大きなイベントです。出場者はこのシーズン、テニスと軽井沢での滞在を楽しんで来られた人たち。いままでの軽井沢テニスの楽しさに、プラス、緊張感と歓喜を伴う会員のためのイベントであることと同時に Karuzawa Cup はシーズンの終わりにもう一度、家族や親しい友人と軽井沢に来ていただくリピート策です。(応援、観戦者のための優待策が必要)

## Karuzawa Cup は、会員ならばどなたでも参加可能。

Karuzawa Cup は、今年一年楽しくテニスをプレイした集大成の大会です。大会はトーナメント方式の一発勝負。プレーヤーも応援も緊張感と期待で盛り上がります。  
※大会日程、試合方式など、コーチ陣または主催する側と要検討。

プロのテニスプレイヤーを招聘。イベントとして華を添えます。

表彰式のカップ授与やエキシビジョンマッチ。ファンとの交流など企画します。

## 伝統が創り出した軽井沢テニスは「自由と博愛の精神」

私達クラブが提唱する「軽井沢テニス」は、試合に勝つためのテニスではありません。一緒にプレイする仲間を常にリスペクトし、共に健康であること。また軽井沢の地でテニスを楽しめる喜びを共有するするためのものです。だから上手い、下手は二の次なのです。1950年代、現在の皇様と美智子様が軽井沢でテニスを楽しまれた。あの優雅で誰もが心あたたまるイメージを共有した記憶が、ずっと軽井沢テニスの中に息づいているのです。

## 風越公園のスポーツ施設をフル稼働してテニス以外のスポーツも組み込み Karuzawa Cup として一回り大きなスポーツイベント開催の可能性も。

この期間はスポーツ参加の選手とそれを支える人たちと家族など、軽井沢は多くの人々で溢れます。サッカー、フットサル、バドミントン、剣道、ハンドボール、卓球などなど

Karuzawa Cup の試合の運営は、日本テニス協会のスタッフと協議の上で進行します。